

第3次府中市環境基本計画の進捗状況について

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値					
	2013	1,210.2	2030	629.3					

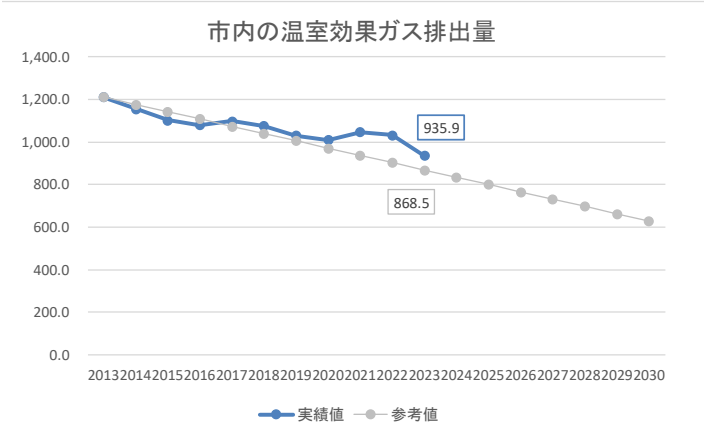
市内の温室効果ガス排出量					千t-CO ₂ eq	基本方針1 脱炭素型のまちを 目指します	成果指標	オール東京 62市町村共 同事業	環境政策課
--------------	--	--	--	--	-----------------------	----------------------------	------	------------------------	-------

実績値

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	1210.2	1155.1	1101.6	1079.4	1098.3	1076.1	1030.0	1010.4	1047.0	1033.0	935.9 (1009)							
参考値	1210.2	1176.0	1141.9	1107.7	1073.5	1039.3	1005.2	971.0	936.8	902.7	868.5	834.3	800.2	766.0	731.8	697.6	663.5	629.3

※ 2023年度については、排出係数の定義変更（「未調整排出係数」から「基礎排出係数（非化石電源調整済）」への移行）があった。
（ ）内に参考として、未調整排出係数による算定を掲載。

グラフ



主な取組内容等

- ・2021年11月に、2050年CO₂(二酸化炭素)実質排出ゼロを目指すゼロカーボンシティを表明。この動きに合わせ、市内に大規模事業所を置く事業者や大学とゼロカーボンシティの実現を目指すための協定を締結したことをはじめ、東京電力・東京ガス、その他、ゼロカーボン施策を推進するにあたり関連する事業者と協定を結び、排出量の削減について推進を図っている
- ・2025年度から公共施設で導入を開始した実質再エネ電力の活用を2026年度は対象施設を拡大し、市内事業者へも活用を広げていく

実績の評価

B	やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している
---	------------------------

実績の評価に影響した外部要因

- ・電力排出係数の低下（電源構成の変化及び定義変更）。基準年以降、ゆるやかに下がってきており、排出量の低減に寄与している。
- ※基準年度比較

今後の取組の方向性

- ・協定先事業者と連携し、ゼロカーボンシティ実現の推進の取組、特に環境教育の実施を図る
- ・エコハウス設備設置助成金を継続して再エネ機器の導入を図る。
- ・運輸部門の排出削減の取組として、ZEV及び給電設備を購入する市民に対し、その費用の一部を助成する
- ・公共施設にEV充電器を設置し、ZEVの普及を促進する
- ・公共施設の屋上に太陽光設備を設置することで再エネを活用し、排出の抑制に務める
- ・再エネ電気を使用することで環境負荷の低減を図る

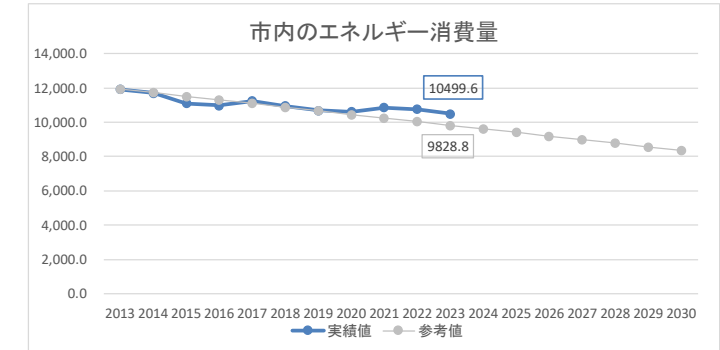
指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値					
	2013	11,935.0	2030	8,354.5					

市内のエネルギー消費量					TJ	基本方針1 脱炭素型のまちを 目指します	成果指標	オール東京 62市町村共 同事業	環境政策課
-------------	--	--	--	--	----	----------------------------	------	------------------------	-------

実績値

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	11935.0	11698.8	11095.2	10988.1	11236.6	10953.3	10689.8	10612.8	10848.5	10763.6	10499.6							
参考値	11935.0	11724.4	11513.8	11303.1	11092.5	10881.9	10671.3	10460.7	10250.1	10039.4	9828.8	9618.2	9407.6	9197.0	8986.4	8775.7	8565.1	8354.5

グラフ



主な取組内容等

- ・エコハウス設備設置費を助成することで、高効率型給湯器や断熱窓改修等の省エネ設備の普及を図った
※助成金の申請件数が増加する傾向にあり、**2023年度**から大幅な拡充を図ったため、翌年度以降の以降の効果について注視していく

実績の評価

B	やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している
---	------------------------

実績の評価に影響した外部要因

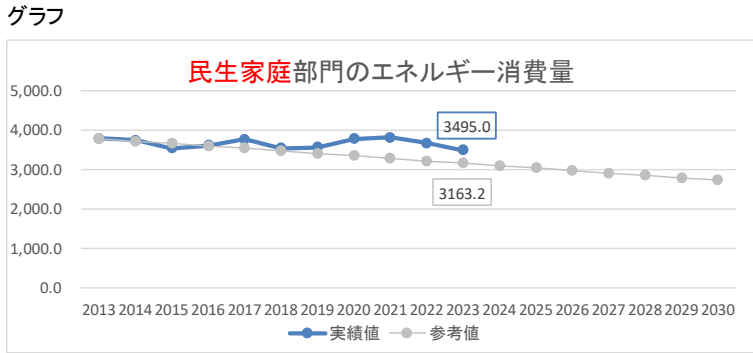
- ・2023年5月、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行
- ・夏季（7月～8月）の節電要請
- ・気候要因（暖冬）
- ・エネルギー価格の高騰による節電行動の促進

今後の取組の方向性

- ・省エネ行動等の啓発の取組として、環境まつりなどにおいて6者協定事業者（株式会社東芝府中事業所、サントリービール株式会社武蔵野ビール工場、日本電気株式会社府中事業場、キューピー株式会社中河原工場、国立大学法人東京農工大学）の協力のもと省エネハンドブックなどを配布し啓発実施する
- ・2027年度を目途に公共施設照明のLED化を進めていくことにより、市自らが率先し、排出の低減に取り組む

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値		基本方針1 脱炭素型のまちを 目指します	成果指標	オール東京 62市町村共 同事業	環境政策課
	2013	3,787.0	2030	2,726.6					

実績値																		
年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	3787.0	3740.9	3539.9	3608.1	3762.8	3536.5	3560.4	3778.1	3818.7	3665.6	3495.0							
参考値	3787.0	3724.6	3662.2	3599.9	3537.5	3475.1	3412.7	3350.4	3288.0	3225.6	3163.2	3100.9	3038.5	2976.1	2913.7	2851.4	2789.0	2726.6



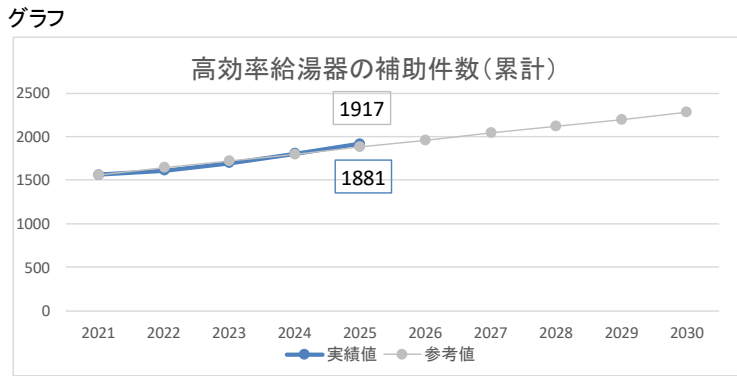
実績の評価	
B	やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している

実績の評価に影響した外部要因	
・人口…0.1% (329人) 減 ・世帯数…0.6% (747人) 増 ※共に2022年(前年)比	

今後の取組の方向性	
・エコハウス設備設置助成金を継続して省エネ設備の導入を図る ・省エネ行動等の啓発の取組として、環境教育等を実施する	

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値		基本方針1 脱炭素型のまちを 目指します	参考指標・ 取組指標	府中の環境	環境政策課
	2021	1562	2030	2280					

実績値										
年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	1562	1610	1696	1805	1917					
参考値	1562	1642	1722	1801	1881	1961	2041	2120	2200	2280



実績の評価	
S	目標以上に進んでいる

実績の評価に影響した外部要因	
・東京都や国などの省エネ設備への補助金制度の拡充などによる市民の関心の高まり	

今後の取組の方向性	
・助成制度を継続していく	

主な取組内容等	
・高効率給湯器(エネファーム、エコキュート)をエコハウス設備設置費助成金制度の対象設備とし、申請のあった市民に対して費用の一部助成を行った	

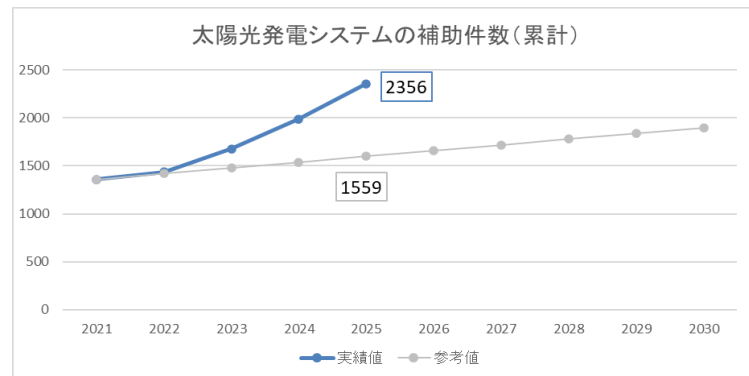
指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2021	1359	2030	1900	

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針1 脱炭素型のまちを 目指します	参考指標・ 取組指標	府中の環境	環境政策課

実績値

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	1359	1435	1677	1990	2356					
参考値	1359	1419	1479	1539	1599	1660	1720	1780	1840	1900

グラフ



主な取組内容等

・太陽光発電システムをエコハウス設備設置費助成金制度の対象設備とし、申請のあった市民に対して費用の一部助成を行った

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・東京都や国などの省エネ設備への補助金制度の拡充などによる市民の関心の高まり

今後の取組の方向性

・助成制度を継続していく

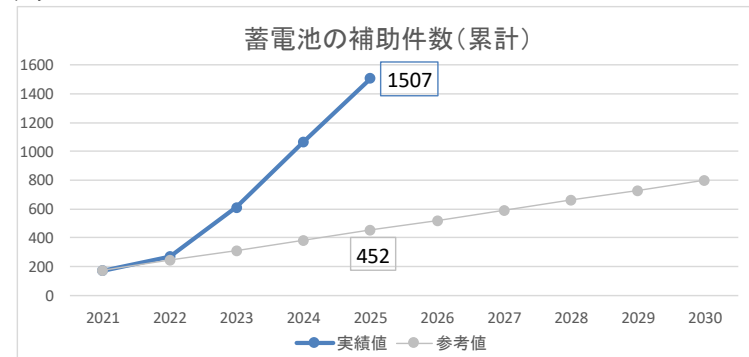
指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2021	173	2030	800	

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針1 脱炭素型のまちを 目指します	参考指標・ 取組指標	府中の環境	環境政策課

実績値

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	173	271	611	1067	1507					
参考値	173	243	312	382	452	521	591	661	730	800

グラフ



主な取組内容等

蓄電池システムをエコハウス設備設置費助成金制度の対象設備とし、申請のあった市民に対して費用の一部助成を行った

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・東京都や国などの省エネ設備への補助金制度の拡充などによる市民の関心の高まり

今後の取組の方向性

・助成制度を継続していく

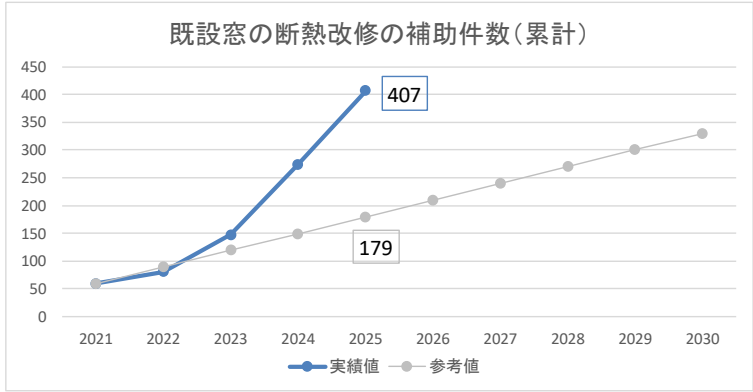
指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値		基本方針1 脱炭素型のまちを 目指します	参考指標・ 取組指標	府中の環境	環境政策課
	2021	59	2030	330					

既設窓の断熱改修
補助件数(累計)

実績値

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	59	80	147	274	407					
参考値	59	89	119	149	179	210	240	270	300	330

グラフ



主な取組内容等

・既設窓の断熱改修をエコハウス設備設置費助成金制度の対象設備とし、申請のあった市民に対して費用の一部助成を行った

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・東京都や国などの省エネ設備への補助金制度の拡充などによる市民の関心の高まり

今後の取組の方向性

・助成制度を継続していく

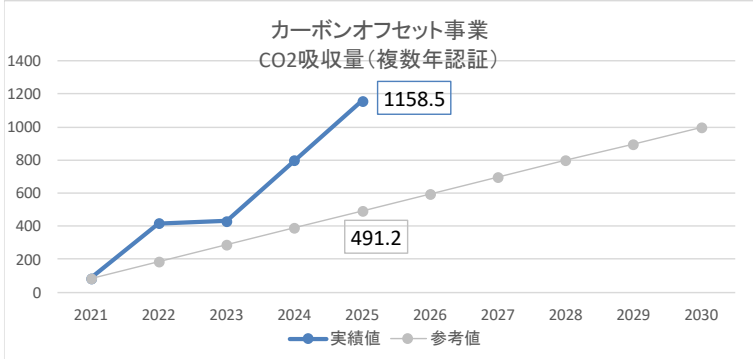
指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値		基本方針1 脱炭素型のまちを 目指します	参考指標・ 取組指標	府中の環境	環境政策課
	2021	84.2	2030	1000					

カーボンオフセット事業
CO2吸収量(複数年認証)

実績値

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	84.2	416.8	431.5	797.2	1158.5					
参考値	84.2	186.0	287.7	389.5	491.2	593.0	694.7	796.5	898.2	1000

グラフ



主な取組内容等

・姉妹都市長野県佐久穂町と「府中市と佐久穂町との地球環境保全のための連携に関する協定」及び長野県の「森林里親促進事業森林整備協定」に基づき、佐久穂町において森林整備を行い、市民生活から排出される二酸化炭素相当量の一部を相殺させている。

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・佐久穂町森林整備計画

今後の取組の方向性

・佐久穂町森林整備計画に基づき、森林整備を継続する。今後は植林を中心に整備を行う見通しである。※長野県の「森林の里親促進事業」においては、植林による二酸化炭素の吸収量は最長10年間得られることから、吸収量は増加する見込みである。

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1	38.7	39.4	40.0

※実績値は、2021年度以前は市政世論調査、2022年度以降は市民意識調査により把握している
※2025年度のみ第7次府中市総合計画後期基本計画策定に係る臨時市民意識調査により把握

グラフ

生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・社会の各階層において生物多様性の主流化(※)が進んでいるため
(※)環境部門に限らず社会のあらゆる領域の意思決定に生物多様性の視点を組み込むこと。

今後の取組の方向性

・動植物調査等による市内の生物情報の収集、集約、リスト化、公開、活用
・市ホームページ等における生物多様性情報の発信
・各種自然観察、体験イベント、講演会等の継続及びネイチャーポジティブの実現に繋がる内容へのブラッシュアップ

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性や自然環境の保全につながる行動を始めている市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	—	—	2030	30.0					

実績値								
年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	31.5	23.8	26.1					
参考値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※2023年度の数値は2024年5月に実施した調査による実績

グラフ

生物多様性や自然環境の保全につながる行動を始めている市民の割合

実績の評価

A	目標どおり順調に進捗している
---	----------------

実績の評価に影響した外部要因

・特になし

今後の取組の方向性

・自然環境保全及びネイチャーポジティブの実現に貢献できる行動や取組について紹介し生活スタイルの変容を促す
・市民が気軽に参加できる自然環境及び生物多様性保全活動イベントの実施
・生物多様性に配慮した樹木、樹林、植栽の維持管理方法の周知及び維持管理に係る負担軽減の支援
・環境保全活動センターの機能の充実

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性や自然環境の保全につながる行動を始めている市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	—	—	2030	30.0					

実績値								
年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	31.5	23.8	26.1					
参考値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※2023年度の数値は2024年5月に実施した調査による実績

グラフ

生物多様性や自然環境の保全につながる行動を始めている市民の割合

実績の評価

A	目標どおり順調に進捗している
---	----------------

実績の評価に影響した外部要因

・特になし

今後の取組の方向性

・自然環境保全及びネイチャーポジティブの実現に貢献できる行動や取組について紹介し生活スタイルの変容を促す
・市民が気軽に参加できる自然環境及び生物多様性保全活動イベントの実施
・生物多様性に配慮した樹木、樹林、植栽の維持管理方法の周知及び維持管理に係る負担軽減の支援
・環境保全活動センターの機能の充実

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1	38.7	39.4	40.0

※実績値は、2021年度以前は市政世論調査、2022年度以降は市民意識調査により把握している
※2025年度のみ第7次府中市総合計画後期基本計画策定に係る臨時市民意識調査により把握

グラフ

生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・社会の各階層において生物多様性の主流化(※)が進んでいるため
(※)環境部門に限らず社会のあらゆる領域の意思決定に生物多様性の視点を組み込むこと。

今後の取組の方向性

・動植物調査等による市内の生物情報の収集、集約、リスト化、公開、活用
・市ホームページ等における生物多様性情報の発信
・各種自然観察、体験イベント、講演会等の継続及びネイチャーポジティブの実現に繋がる内容へのブラッシュアップ

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性や自然環境の保全につながる行動を始めている市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	—	—	2030	30.0					

実績値								
年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	31.5	23.8	26.1					
参考値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※2023年度の数値は2024年5月に実施した調査による実績

グラフ

生物多様性や自然環境の保全につながる行動を始めている市民の割合

実績の評価

A	目標どおり順調に進捗している
---	----------------

実績の評価に影響した外部要因

・特になし

今後の取組の方向性

・自然環境保全及びネイチャーポジティブの実現に貢献できる行動や取組について紹介し生活スタイルの変容を促す
・市民が気軽に参加できる自然環境及び生物多様性保全活動イベントの実施
・生物多様性に配慮した樹木、樹林、植栽の維持管理方法の周知及び維持管理に係る負担軽減の支援
・環境保全活動センターの機能の充実

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1	38.7	39.4	40.0

※実績値は、2021年度以前は市政世論調査、2022年度以降は市民意識調査により把握している
※2025年度のみ第7次府中市総合計画後期基本計画策定に係る臨時市民意識調査により把握

グラフ

生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・社会の各階層において生物多様性の主流化(※)が進んでいるため
(※)環境部門に限らず社会のあらゆる領域の意思決定に生物多様性の視点を組み込むこと。

今後の取組の方向性

・動植物調査等による市内の生物情報の収集、集約、リスト化、公開、活用
・市ホームページ等における生物多様性情報の発信
・各種自然観察、体験イベント、講演会等の継続及びネイチャーポジティブの実現に繋がる内容へのブラッシュアップ

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1	38.7	39.4	40.0

※実績値は、2021年度以前は市政世論調査、2022年度以降は市民意識調査により把握している
※2025年度のみ第7次府中市総合計画後期基本計画策定に係る臨時市民意識調査により把握

グラフ

生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・社会の各階層において生物多様性の主流化(※)が進んでいるため
(※)環境部門に限らず社会のあらゆる領域の意思決定に生物多様性の視点を組み込むこと。

今後の取組の方向性

・動植物調査等による市内の生物情報の収集、集約、リスト化、公開、活用
・市ホームページ等における生物多様性情報の発信
・各種自然観察、体験イベント、講演会等の継続及びネイチャーポジティブの実現に繋がる内容へのブラッシュアップ

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1	38.7	39.4	40.0

※実績値は、2021年度以前は市政世論調査、2022年度以降は市民意識調査により把握している
※2025年度のみ第7次府中市総合計画後期基本計画策定に係る臨時市民意識調査により把握

グラフ

生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・社会の各階層において生物多様性の主流化(※)が進んでいるため
(※)環境部門に限らず社会のあらゆる領域の意思決定に生物多様性の視点を組み込むこと。

今後の取組の方向性

・動植物調査等による市内の生物情報の収集、集約、リスト化、公開、活用
・市ホームページ等における生物多様性情報の発信
・各種自然観察、体験イベント、講演会等の継続及びネイチャーポジティブの実現に繋がる内容へのブラッシュアップ

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1	38.7	39.4	40.0

※実績値は、2021年度以前は市政世論調査、2022年度以降は市民意識調査により把握している
※2025年度のみ第7次府中市総合計画後期基本計画策定に係る臨時市民意識調査により把握

グラフ

生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・社会の各階層において生物多様性の主流化(※)が進んでいるため
(※)環境部門に限らず社会のあらゆる領域の意思決定に生物多様性の視点を組み込むこと。

今後の取組の方向性

・動植物調査等による市内の生物情報の収集、集約、リスト化、公開、活用
・市ホームページ等における生物多様性情報の発信
・各種自然観察、体験イベント、講演会等の継続及びネイチャーポジティブの実現に繋がる内容へのブラッシュアップ

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1	38.7	39.4	40.0

※実績値は、2021年度以前は市政世論調査、2022年度以降は市民意識調査により把握している
※2025年度のみ第7次府中市総合計画後期基本計画策定に係る臨時市民意識調査により把握

グラフ

生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・社会の各階層において生物多様性の主流化(※)が進んでいるため
(※)環境部門に限らず社会のあらゆる領域の意思決定に生物多様性の視点を組み込むこと。

今後の取組の方向性

・動植物調査等による市内の生物情報の収集、集約、リスト化、公開、活用
・市ホームページ等における生物多様性情報の発信
・各種自然観察、体験イベント、講演会等の継続及びネイチャーポジティブの実現に繋がる内容へのブラッシュアップ

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1	38.7	39.4	40.0

※実績値は、2021年度以前は市政世論調査、2022年度以降は市民意識調査により把握している
※2025年度のみ第7次府中市総合計画後期基本計画策定に係る臨時市民意識調査により把握

グラフ

生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・社会の各階層において生物多様性の主流化(※)が進んでいるため
(※)環境部門に限らず社会のあらゆる領域の意思決定に生物多様性の視点を組み込むこと。

今後の取組の方向性

・動植物調査等による市内の生物情報の収集、集約、リスト化、公開、活用
・市ホームページ等における生物多様性情報の発信
・各種自然観察、体験イベント、講演会等の継続及びネイチャーポジティブの実現に繋がる内容へのブラッシュアップ

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1	38.7	39.4	40.0

※実績値は、2021年度以前は市政世論調査、2022年度以降は市民意識調査により把握している
※2025年度のみ第7次府中市総合計画後期基本計画策定に係る臨時市民意識調査により把握

グラフ

生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・社会の各階層において生物多様性の主流化(※)が進んでいるため
(※)環境部門に限らず社会のあらゆる領域の意思決定に生物多様性の視点を組み込むこと。

今後の取組の方向性

・動植物調査等による市内の生物情報の収集、集約、リスト化、公開、活用
・市ホームページ等における生物多様性情報の発信
・各種自然観察、体験イベント、講演会等の継続及びネイチャーポジティブの実現に繋がる内容へのブラッシュアップ

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	年度	値	年度	値		基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課
	2020	33.7	2030	40.0					

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	33.7	26.3	51	49.1	45.5	69.6					
参考値	33.7	34.3	35.0	35.6	36.2	37.0	37.5	38.1			

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2022	10	2030	10	

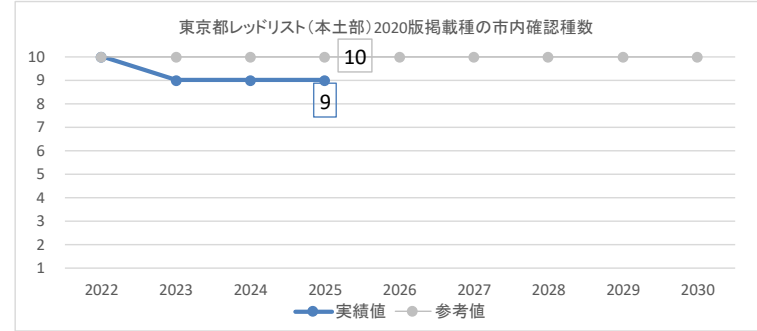
東京都レッドリスト(本土部)
2020年版掲載種の市内確認種数

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中の環境	環境政策課

実績値

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	10	9	9	9					
参考値	10	10	10	10	10	10	10	10	10

グラフ



主な取組内容

- ・市民団体による保全活動や動植物調査への支援
- ・植生管理ガイドラインに基づく公園管理(府中市立武蔵台公園)
- ・都立公園管理者と連携した自然環境及び生物多様性保全活動
- ・アライグマやハクビシンの防除の推進、支援

実績の評価

A	目標どおりに順調に進捗している
---	-----------------

実績の評価に影響した外部要因

- ・特になし

今後の取組の方向性

- ・市民団体による保全活動や動植物調査に対する引き続きの支援、連携
- ・公園管理者や河川管理者と連携した自然環境の保全と利用
- ・収集、集約、リスト化した市内の生物情報を活用した希少動植物の保全
- ・収集、集約、リスト化した市内の生物情報を活用した侵略的な外来種の防除
- ・市内緑地等の自然共生サイト認定に向けた取り組みの検討
- ・市内事業所・学校・宗教法人等への30by30目標の啓発および取り組み支援

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2015	29.52	2028	30	

緑被率

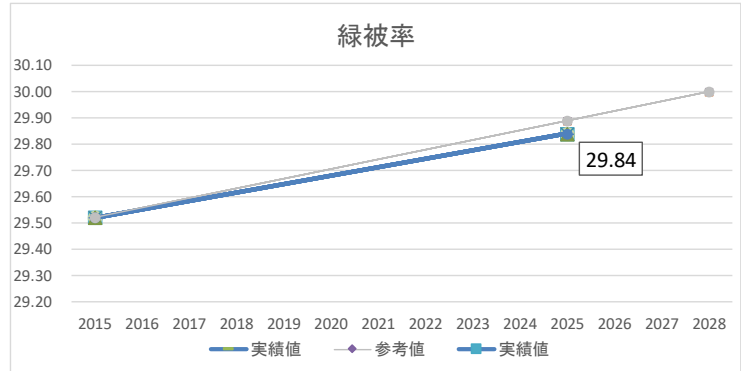
施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	成果指標	府中市緑の基本計画2020	公園緑地課

実績値

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
実績値	29.52	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29.84			
参考値	29.52	29.56	29.59	29.63	29.67	29.70	29.74	29.78	29.82	29.85	29.89	29.93	29.96	30.0

※基準値及び目標値は、関連計画である府中市緑の基本計画2020に基づく

グラフ



主な取組内容

- ・緑被率とは、樹木・樹林、草地、農地などの植物で覆われている面積の割合を示す指標であり、概ね10年に1回実施する調査により把握している
- ・公園・緑地の整備、開発事業に伴う緑地面積の確保及び生産緑地地区の指定等を通じて、緑の保全及び緑化の推進を図っている

実績の評価

A	目標どおり順調に進捗している
---	----------------

実績の評価に影響した外部要因

- ・特になし

今後の取組の方向性

- ・令和2年1月に策定した「府中市緑の基本計画2020」については、令和10年度に計画期間の終期を迎えることから、現計画の進捗状況や市民意向を踏まえた検証を行う
- ・次期計画においては、都市公園の保全・整備、民有地の緑の保全・創出及び都市の緑化を総合的かつ体系的に推進するための基本方針及び目標を定め、緑被率の維持・向上に向けた施策を推進する

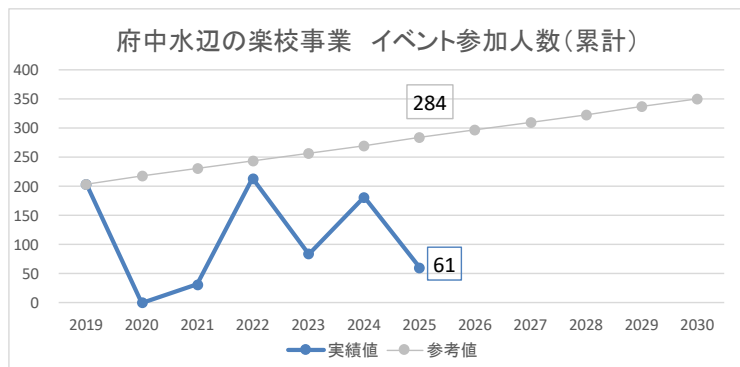
指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2019	204	2030	350	

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針2 人と自然が調和して豊かな 恵みが得られるまちを 目指します	参考指標・ 取組指標		環境政策課

実績値

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	204	0	32	213	84	181	61					
参考値	204	217	231	244	257	270	284	297	310	323	337	350

グラフ



主な取組内容

- ・多摩川河川敷(府中市域)における自然体験活動(生き物の観察、カヌー体験等)や工作活動
- ・多摩川源流域及び河口域における自然体験活動(沢歩きや干潟観察など)

実績の評価

B	やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している
---	------------------------

実績の評価に影響した外部要因

- ・河川工事に起因するやむを得ない理由により事業を中止しているため、実績評価はC→Bとしている。

今後の取組の方向性

- ・河川環境の変化に応じた活動内容の見直し
- ・運営協議会メンバーや協力団体の特色を活かした事業継続
- ・中学生サポーターの参加拡充

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2019	14	2030	20	

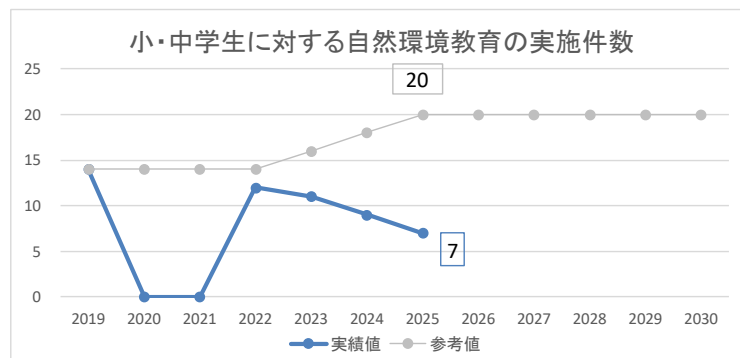
施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針2 人と自然が調和して豊かな 恵みが得られるまちを 目指します	参考指標・ 取組指標		環境政策課

実績値

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	14	0	0	12	11	9	7					
参考値	14	14	14	14	16	18	20	-	-	-	-	-

※市、府中市自然環境調査員会議、府中水辺の楽校が実施する自然環境教育に係るイベント等の件数

グラフ



主な取組内容

- ・府中水辺の楽校事業の実施
- ・小学生とその保護者を対象とした自然観察イベント等の実施

実績の評価

C	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい
---	-------------------------

実績の評価に影響した外部要因

- ・天候や河川工事に起因する事業の中止
- ・小学校からの学習支援依頼の回数の減少

今後の取組の方向性

- ・イベント予備日の設定
- ・屋内イベントの企画
- ・学習支援プログラムのパッケージ化による学校側負担の軽減等を検討

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2020	132	2025	119	

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	参考指標・ 取組指標	農地台帳	産業観光課

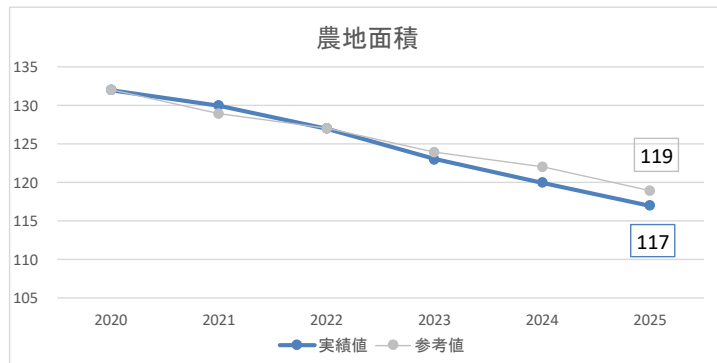
実績値

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
実績値	132	130	127	123	120	117
参考値	132	129	127	124	122	119

※ 参考値:その年に達成していることが望ましい値

※ 2022年度までは第6次府中市総合計画の当初値、2023年度以降は第7次府中市総合計画の計画値を記載

グラフ



主な取組内容

・農地を保全するための各種補助事業や国等への要望活動のほか、農業経営の向上、担い手の育成、地産地消の推進、市民が農業とふれあう機会の提供や都市農業をPRする取組など、都市農業を育成する施策全般を通じて農地の保全を図っている。農地の使用貸借も有効な農地保全対策の一つであり、その促進のために7年度からは奨励金事業を実施している。

実績の評価

B	やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している
---	------------------------

実績の評価に影響した外部要因

・相続税の支払いの負担や農業後継者不足による要因から農地の転用が見られた

今後の取組の方向性

・現状の取組を継続して実施しつつ、より効果的な農地保全策について調査・研究する

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2020	135	2025	140	

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	参考指標・ 取組指標		産業観光課

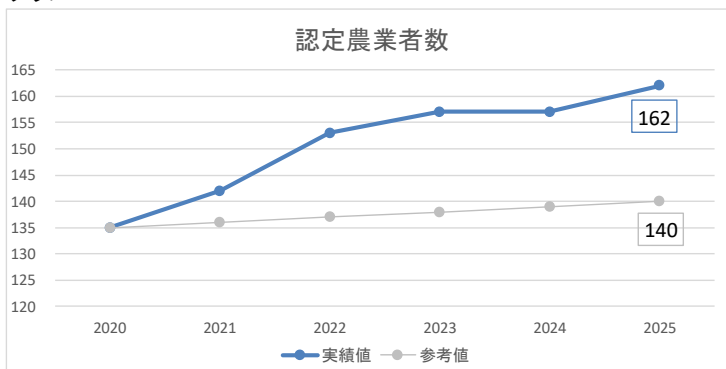
実績値

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
実績値	135	142	153	157	157	162
参考値	135	136	137	138	139	140

※ 参考値:その年に達成していることが望ましい値

※ 2022年度までは第6次府中市総合計画の当初値、2023年度以降は第7次府中市総合計画の計画値を記載

グラフ



主な取組内容

・認定を受けるために個々の農業者が作成しなければならない農業経営改善計画について、個人相談会の開催等によりその作成に係るサポートを行いながら、計画の認定事務を執行している

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・特になし

今後の取組の方向性

・現状の取り組みを継続して実施する

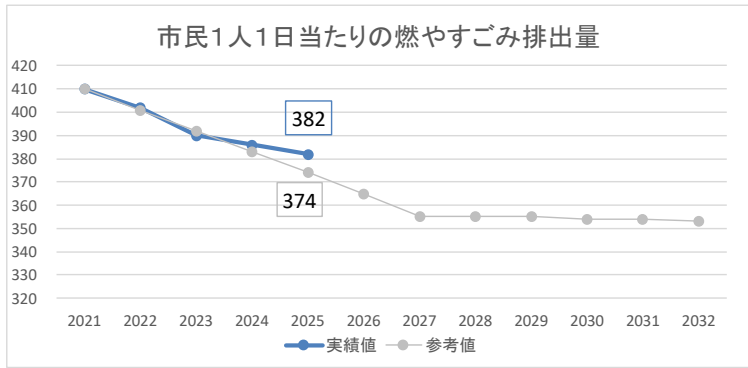
指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値					
	2021	410	2027	356					
市民1人1日 当 たりの燃やすごみ排出量			2032	353	1人g／1日	基本方針3 循環型のまちを目指します	成果指標	一般廃棄物 処理基本計 画	資源循環推 進課

実績値

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
実績値	410	402	390	386	382							
参考値	410	401	392	383	374	365	356	355	355	354	354	353

※一般廃棄物処理基本計画に基づく

グラフ



主な取組内容

- ・各種媒体の活用やイベント、説明会等を通じた市民へのごみ減量・3R推進の啓発
- ・集団回収の奨励
- ・生ごみ処理機購入補助
- ・民間事業者等との協働による食品ロスにかかる各種事業の展開

実績の評価

B	やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している
---	------------------------

実績の評価に影響した外部要因

- ・特になし

今後の取組の方向性

- ・引き続き各種取組を一体的に推進していく

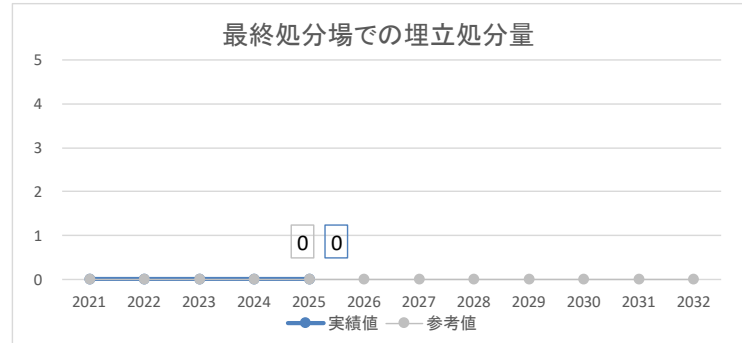
指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値					
	2021	0	2032	0					
最終処分場での埋立処分量					t	基本方針3 循環型のまちを目指します	成果指標	一般廃棄物 処理基本計 画	資源循環推 進課

実績値

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
実績値	0	0	0	0	0							
参考値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※一般廃棄物処理基本計画に基づく

グラフ



主な取組内容

- ・多摩川衛生組合（クリーンセンター多摩川）で発生した焼却灰を日の出町に所在する東京たま広域資源循環組合に適切に搬入し、エコセメントとして再生することで最終処分場における埋立処分量をゼロとする

実績の評価

A	目標どおり順調に進捗している
---	----------------

実績の評価に影響した外部要因

- ・特になし

今後の取組の方向性

- ・構成市と連携しながら引き続き上記取組を継続していく。

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2021	8.22	2027	7.46	

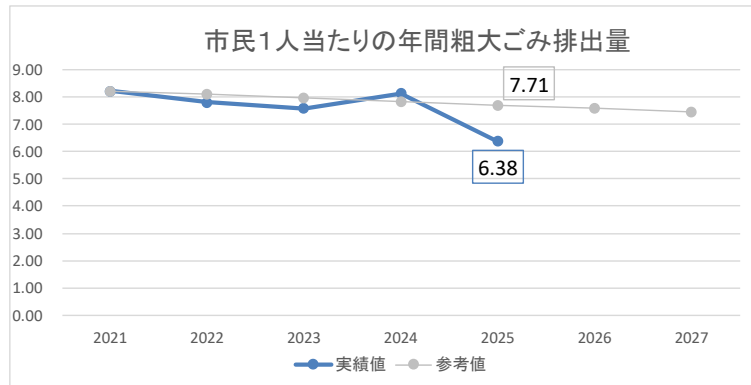
施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針3 循環型のまちを目指します	参考指標・ 取組指標	一般廃棄物 処理基本計 画	資源循環推 進課

実績値

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
実績値	8.22	7.81	7.59	8.14	6.38		
参考値	8.22	8.09	7.97	7.84	7.71	7.59	7.46

※一般廃棄物処理基本計画に基づく

グラフ



主な取組内容

・市民が排出する粗大ごみをリサイクルプラザにおいて適正に回収し、処理を行った

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

・搬入量減の理由の一つとして、リサイクルプラザの整備に伴う直接搬入の休止が影響していると考えられる

今後の取組の方向性

・引き続き、適正な処理を行う。

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2021	72	2027	83	

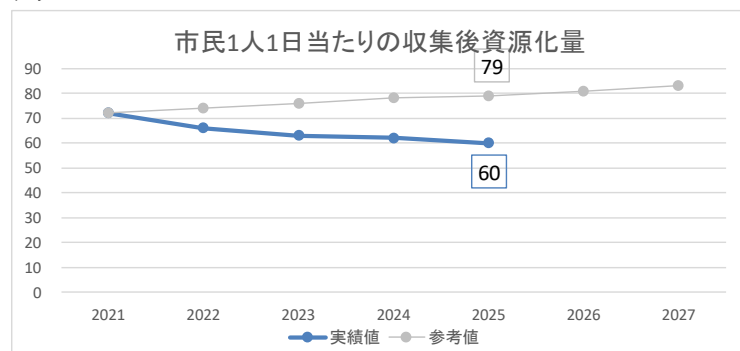
施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針3 循環型のまちを目指します	参考指標・ 取組指標	一般廃棄物 処理基本計 画	資源循環推 進課

実績値

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
実績値	72	66	63	62	60		
参考値	72	74	76	78	79	81	83

※一般廃棄物処理基本計画に基づく

グラフ



主な取組内容

・リサイクルプラザにおける貴金属類等の分別・資源化
・東京たま広域資源循環組合における焼却灰のエコセメント化

実績の評価

C	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい
---	-------------------------

実績の評価に影響した外部要因

・近年の物価高騰により物の消費が低迷し、収集するごみ・資源の量そのものが減少している。

今後の取組の方向性

・ごみ減量が進むことで実績値が伸びない状況が考えられ、指標としてなじまないことから、指標の廃止が望ましい。

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
総資源化率	2021	12	2027	1	位(多摩地域)

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針3 循環型のまちを目指します	参考指標・ 取組指標	一般廃棄物 処理基本計 画	資源循環推 進課

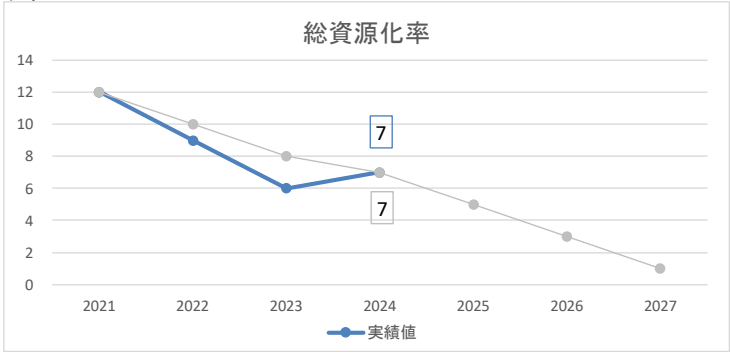
実績値

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
実績値	12	9	6	7			
参考値	12	10	8	7	5	3	1

※一般廃棄物処理基本計画に基づく

※当該数値は8月に
確定予定

グラフ



主な取組内容

--

実績の評価

--	--

実績の評価に影響した外部要因

--

今後の取組の方向性

--

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
水質、大気、騒音・振動の環境 基準適合率	2020	84.40	2025	100	%

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針4 安全・安心・快適に暮ら せる文化的なまちを目指 します	成果指標	府中の環境 の数値を基 に算出	環境政策課

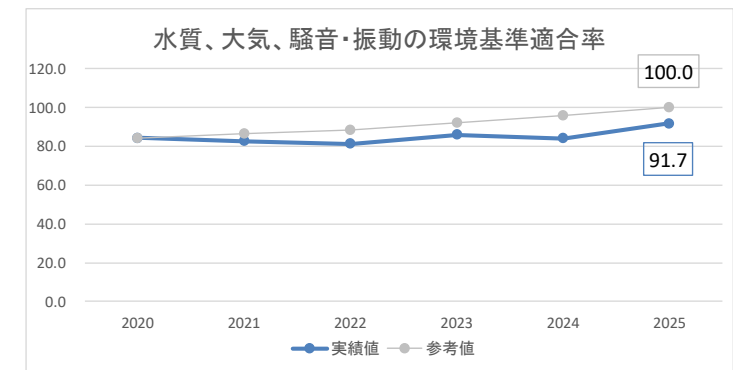
実績値

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
実績値	84.4	82.8	81.3	85.9	84.1	91.7
参考値	84.4	86.4	88.3	92.2	96.1	100

※ 参考値:その年に達成していることが望ましい値

※ 2022年度までは第6次府中市総合計画の当初値、2023年度以降は第7次府中市
総合計画の計画値を記載

グラフ



主な取組内容

・府中市独自に主要4項目の環境項目の数値を測定し、生活環境の把握を実施した ①水質:多摩川国立境と調布境の各5つ(pH,BOD,SS,DO,大腸菌数)の年間数値の平均 値(調査:月1回) ②大気:武蔵台局と朝日局の各3つ(CO,SPM,NO2)年間数値の平均値(常時監視) ③騒音・振動:市内12か所地点(昼間・夜間 別)(調査:年1回)

※各測定結果は、市HPに掲載の「府中の環境」及
び「公共施設等の井戸における有機フッ素化合物
(PFAS)調査の結果について」をご参照ください。

実績の評価

B	やや遅れが生じているが概ね順調に進捗 している
---	----------------------------

実績の評価に影響した外部要因

・騒音については、幹線道路沿道において交通量 や道路構造等の影響を受け、環境基準の超過が継 続している地点が見られる。なお、令和7年度は測 定機器の不具合により一部地点で欠測が生じた ・水質については、調布市境における大腸菌数の超 過が継続しており、採水地点の特性や周辺環境の 影響が考えられる

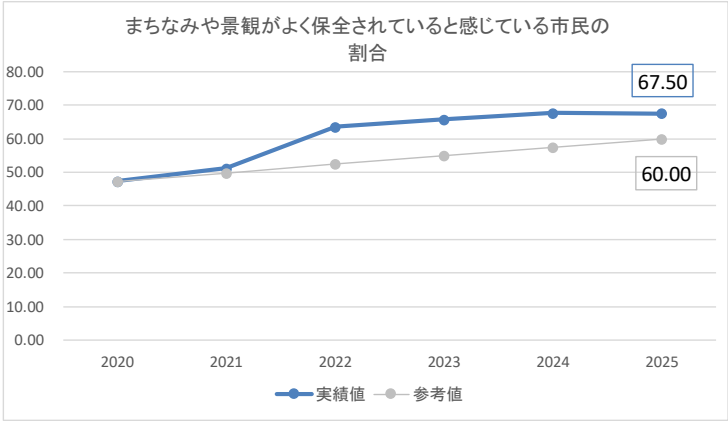
今後の取組の方向性

・今後も、水質、大気、騒音・振動の測定を継続し、 市内の生活環境の状況を的確に把握する ・騒音については、幹線道路沿道における基準超過 が見られる地点について、道路管理者、東京都及 び国等の関係機関と情報共有を行い、引き続き状 況把握を行う ・水質については、調布市境における大腸菌数の超 過状況について、採水地点の特性や周辺環境の影 響を踏まえた原因分析を進めるとともに、測定項目 や評価方法について実態に即した整理を行う ・測定機器の点検・管理を徹底し、安定的な測定体 制の確保に努める
--

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値		基本方針4 安全・安心・快適に暮らせる文化的なまちを目指します	成果指標	府中市総合計画に関する市民調査	計画課
まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合	2020	47.30	2025	60	%				

実績値						
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
実績値	47.30	51.20	63.50	65.80	67.70	67.50
参考値	47.30	49.84	52.38	54.92	57.46	60

※ 参考値:その年に達成していることが望ましい値
※ 2022年度までは第6次府中市総合計画の当初値、2023年度以降は第7次府中市総合計画の計画値を記載
グラフ



主な取組内容
・府中市土地利用景観調整審査会を通じて、大規模な計画に対して助言を行うことや、府中市景観計画及び府中市景観ガイドラインに基づき、建築物や屋外広告物等に対して、事業者と協議、指導を行うことで、良好な景観形成を誘導した
・景観の保全や形成等について広く周知を図るため、市民向けのセミナーを実施した

実績の評価	
S	目標以上に進んでいる

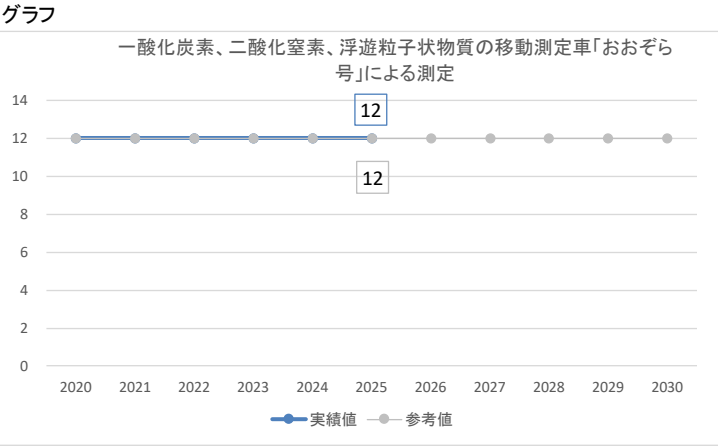
実績の評価に影響した外部要因
・特になし

今後の取組の方向性
・目標以上の数値を推移しているため、上記の取組を引き続き行いつつ、より効果的な取り組みを検討する

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
一酸化炭素、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の移動測定車「おおぞら号」による測定	2020	12	2030	12	回／年

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針4 安全・安心・快適に暮らせる文化的なまちを目指します	参考指標・取組指標		環境政策課

実績値											
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	12	12	12	12	12	12					
参考値	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12



主な取組内容等
・幹線道路沿いの大気汚染を監視するため、移動測定車を1か月ごとに移動させて測定する

実績の評価	
A	目標どおり順調に進捗している

実績の評価に影響した外部要因
・特になし

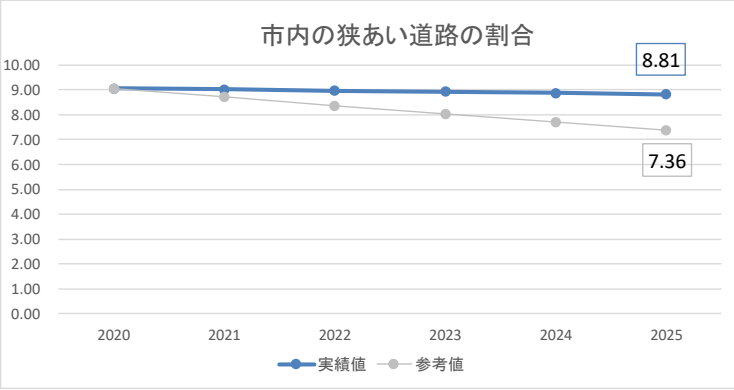
今後の取組の方向性
・継続的に測定を行い、大気の状態が環境基準を満たしているのかの判定をしていく。

指標項目	基準値		目標値		単位	施策体系	指標区分	出典	担当課
	年度	値	年度	値		基本方針4 安全・安心・快適に暮らせる文化的なまちを目指します	参考指標・ 取組指標		※建築指導課
	2020	9.05	2025	7.36					

実績値	年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
実績値	9.05	9.01	8.96	8.93	8.88	8.81	
参考値	9.05	8.71	8.37	8.04	7.70	7.36	

※基準値及び目標値は、上位計画である第7次府中市総合計画に基づく

グラフ



主な取組内容等

・狭あい道路拡幅を推進することで市民の生活環境の向上を図るとともに、安全で快適な災害に強いまちづくりを実現するために、建築基準法第42条第2項の規定により指定された道路の寄附等を受け、助成金及び奨励金の交付並びに道路整備を行う

実績の評価

C	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい
---	-------------------------

実績の評価に影響した外部要因

・特になし

今後の取組の方向性

・府中市狭あい道路の拡幅に関する条例の施行に伴い、狭あい道路拡幅整備工事は概ね順調に実施しているが、実績値と参考値には開きができてしまっている。そのため、生活環境の向上を図るとともに安全で快適な災害に強いまちづくりの実現を目標に、当該制度を利用していただくため、広報ふちゅうへの掲載や市イベントでの啓発活動を行うとともに、エリアを絞って狭あい道路に面する宅地に対して、パンフレットのポスティングを実施することで市民への周知を行っていき、実績値の向上を目指す

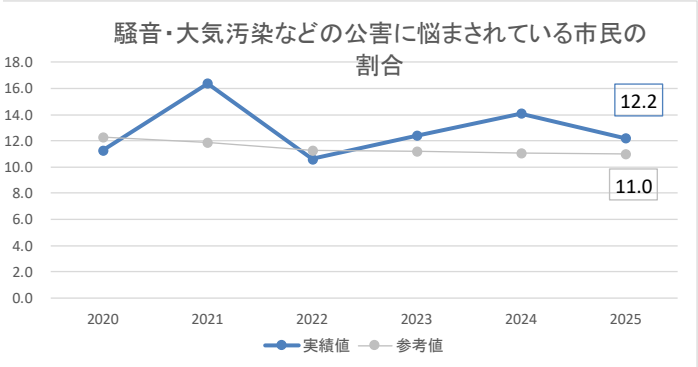
指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2020	11.30	2025	11.00	

騒音・大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	2020	11.3	2021	16.4	2022	10.6	2023	12.4	2024	14.1	2025	12.2
参考値	12.3	11.9	11.3	11.2	11.1	11.0						

※ 参考値: その年に達成していることが望ましい値

※ 2022年度までは第6次府中市総合計画の当初値、2023年度以降は第7次府中市総合計画の計画値を記載

グラフ



主な取組内容等

・市民から工場や指定作業場等の事業者からの騒音や悪臭等に関する苦情があった際に、職員による現場確認や事業者への注意等を行った。
・例年に引き続き、市内の道路における騒音や交通量調査、大気測定、旧武蔵台2号水源地下水水質調査等を実施し、市内の環境状況の把握に努めた。

実績の評価

B	やや遅れが生じているが、概ね順調に進捗している
---	-------------------------

実績の評価に影響した外部要因

・民意調査に基づく指標であり、近年は参考値を上回る状況が見られる。背景として、市内の宅地化の進展や人口増加に伴う居住環境の密集化により、生活騒音や近隣トラブルなどの影響が表れている可能性がある。

今後の取組の方向性

・近年、騒音等に関する相談の中には、生活音や近隣関係に起因する住民同士のトラブルが多く含まれている。これらは法令による直接的な規制や行政による介入が困難な側面を有するが、市としては相談内容に応じて助言や情報提供を行うとともに、事案の内容に応じて関係部署と連携し、適切な対応に努める。
・相談対応を通じて生活型公害の実態把握にも努めていく。あわせて、こうした生活型公害については未然防止が重要であることから、生活騒音等に関する配慮事項の周知や啓発を強化し、市民相互の理解と配慮による良好な生活環境の形成を促進する。

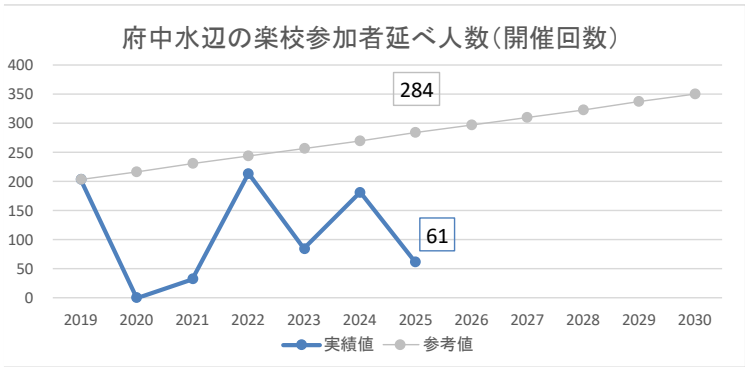
指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2019	204	2030	350	

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針5 協働・連携のための環境 が整ったまちを目指しま す	参考指標・ 取組指標		環境政策課

実績値

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
実績値	204(5)	0(0)	32(2)	213(7)	84(4)	181(5)	61(3)					
参考値	204	217	231	244	257	270	284	297	310	323	337	350

グラフ



主な取組内容等

- ・多摩川河川敷(府中市域)における自然体験活動(生き物の観察、カヌー体験等)や工作活動
- ・多摩川源流域及び河口域における自然体験活動(沢歩きや干潟観察など)

実績の評価

B	やや遅れが生じているが、概ね順調に進捗している
---	-------------------------

実績の評価に影響した外部要因

- ・河川工事に起因するやむを得ない理由により事業を中止しているため、実績評価はC→Bとしている。

今後の取組の方向性

- ・河川環境の変化に応じた活動内容の見直し
- ・運営協議会メンバーや協力団体の特色を活かした事業継続
- ・中学生サポーターの参加拡充

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
	2019	157	2025	180	

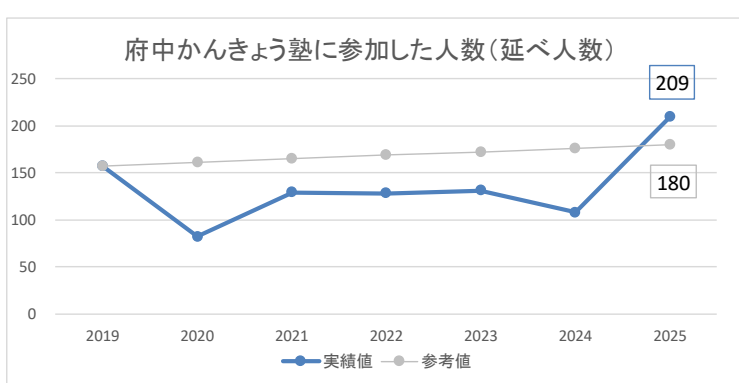
施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針5 協働・連携のための環境 が整ったまちを目指しま す	参考指標・ 取組指標	府中の環境	環境政策課

実績値

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
実績値	157	82	129	128	131	108	209
参考値	157	161	165	169	172	176	180

※ 参考値: その年に達成していることが望ましい値
 ※ 2022年度までは第6次府中市総合計画の当初値、2023年度以降は第7次府中市総合計画の計画値を記載

グラフ



主な取組内容等

- ・年度初めにサポーター宅を訪問し、開催周知を行った
- ・市公式SNSやホームページを活用し、市民への周知を図った
- ・新たな広報媒体(市内小中学校向けスマート連絡帳等)も活用した
- ・関係者による周知協力

実績の評価

S	目標以上に進んでいる
---	------------

実績の評価に影響した外部要因

- ・特になし

今後の取組の方向性

- ・新たな広報媒体や広報経路の可能性を常に考えながら、参加者数の維持・向上に努めていく
- ・講座のカリキュラムについて、関係団体と調整のうえ、市民の興味関心を寄せられるものを検討する

指標項目	基準値		目標値		単位
	年度	値	年度	値	
多摩川清掃市民運動参加者数	2019	3188	2025	4000	人

施策体系	指標区分	出典	担当課
基本方針5 協働・連携のための環境 が整ったまちを目指しま す	参考指標・ 取組指標	府中の環境	環境政策課

実績値

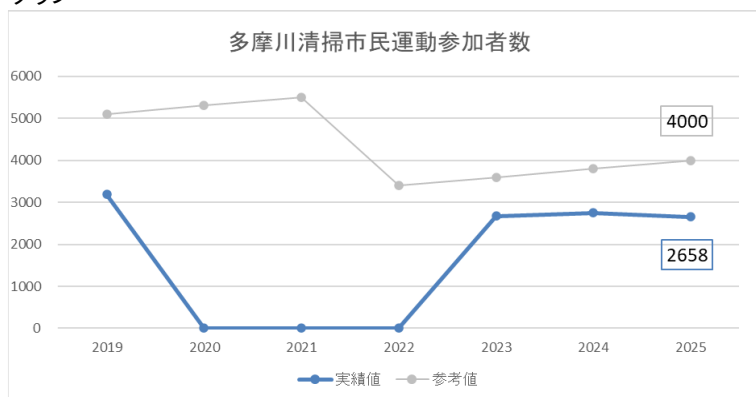
年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
実績値	3188	中止	中止	中止	2676	2753	2658
参考値	5100	5300	5500	3400	3600	3800	4000

※ 参考値:その年に達成していることが望ましい値

※ 2022年度までは第6次府中市総合計画の当初値、2023年度以降は第7次府中市総合計画の計画値を記載

※ 2020年度から2022年度までについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

グラフ



主な取組内容等

- ・市内多摩川河川敷9ヶ所に集合場所を設置し、多摩川清掃市民運動を実施
- ・事業実施に伴う準備作業及びごみ収集の委託
- ・「一般社団法人むさし府中青年会議所」及び「多摩川清掃実行委員会」との協働により、事業運営及び多摩川かぜのみちにおける交通安全誘導を実施

実績の評価

C	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい
---	-------------------------

実績の評価に影響した外部要因

・特になし

今後の取組の方向性

・多摩川清掃市民運動以外にも市民や団体、事業者と協働・連携しながら、まちの環境美化を推進する事業を実施している。より多くの市民参加を募り、その波及効果として市民全体の美化意識向上を図っていく
